

# 第2学年 学級活動「学びゅう目ひょうのふりかえり」

1学期の振り返りを「みんなのボード」で共有する。

出町小学校

## 授業の様子



## 手立て

- ・手書きペンツールで振り返りを記入する。
- ・「みんなのボード」で班ごとのページを作成し、班で互いの振り返りを見合う。
- ・班での見せ合いの後、別の班の振り返りを見る。

## 成果物

他の人の書いた文章と自分の文章を見比べて、より詳しく書いたり、他の人の文を参考にして書いたりする児童の姿が見られた。



# 第6学年 国語科「デジタル機器とわたしたち」(全8時間)

「書くこと」の学習において、オクリンクプラスの共同編集機能を活用し、「デジタル機器の適切な付き合い方」について提案文をまとめる。

庄南小学校

## 授業の様子

友達と提案内容について検討



## 成果物

作成した提案文

### 1. 提案のきっかけ

- ・体験してわかっている、デジタル機器の便利さについて
- ・調べてわかった小学生の使用時間の現状や長時間使用することのデメリット

### 2. 提案内容

- 「デジタルデトックスをしよう」
- ・提案内容のよさ (睡眠の質の向上)
  - ・具体的な方法 (使用時間のチェック等)

### 3. まとめ

デジタル機器は時間を決めて活用していくことが大切である。

デジタルデトックスを心がけよう  
6年1組

1. 提案のきっかけ  
① 友達の話や、調べて分かったこと  
最近、私達小学生にもタブレットやスマートフォン等のデジタル機器を持つ人が増え、デジタル機器の使用時間が増えている。確かにデジタル機器はニュースやYouTubeを見たり、ゲームをしたり出来てとても便利だ。しかし、そんな便利なデジタル機器を長時間使い過ぎると、近視になったり、ストレスが溜まったりする。  
② 解決したい課題  
デジタル機器を使い過ぎると、近視になったりストレスが溜まったりして健康を損なうことがある。そこで、便利なデジタル機器とより良く関わるための方法を提案したい。

←様々なデジタル機器  
子供のデジタル機器の使用時間→

2. 提案  
デジタルデトックスをしよう  
デジタルデトックスとはデジタル機器と意識的に距離をとることだ。なぜなら「アリナミン」によるとデジタルデトックスを行うことによって「睡眠の質の向上(こうじょう)・仕事や勉強の質の向上・リアルな体験に価値(かち)を見出すようになる等のメリットがある」と書いてあった。具体的には、次の二つを提案する。  
(1) ながらスマホを減らす  
同じサイトによると、デジタルデトックスを始めるために、「今までの1日の使用時間を確認し、デジタル機器を使うとき、使わないときのメリハリをつける」と良いと書いてあった。例えば風呂やトイレにはデジタル機器を持ち込まない一日の中でメールやSNSのチェックの回数を決める等のことをすると良い。  
② 姿勢に気を付ける  
姿勢が悪いと近視(さんし)になる。最近では、近視は遺伝するケースも増えているので注意が必要だ。

←ながらスマホの例→  
ながらスマホはやめよう!  
ながらスマホはやめよう!!

3. まとめ  
デジタル機器を使いすぎるというんな機会を失ったりするからたまにデジタル機器から距離を置いていくことが大切なのだ。でもデジタル機器は生活に必要な物だからちゃんと時間を決めて使用していくのだ

## 手立て

②

①

④

②

③

いそん  
しーらにっぴい  
いそん

あるスマホ  
けがにっぴい  
あるスマホ

スマホで、顔を見  
ぶくなく、人とつ  
かて怪談をすること。  
歩きスマホが危険!  
画像(東京消防庁)

視力

お金

個人情報

① 「オクリンクプラスみんなのボード」にデジタル機器に対する課題を出し合い、同じワードや似ている内容を話し合ってみて、提案するテーマを決める。

② テーマごとにグループボードをつくり、調べたことや提案したいことをカードにまとめる。

③ 情報を取捨選択し、原因や根拠となる部分と提案することを色分けする中で構成を考える。

④ 構成したカードを利用して、提案文を作成する。



# 第5学年 音楽科「いろいろな音のひびきを味わおう～リボンのおどり」(全3時間)

楽器の音色やその組み合わせによる響きの変化を味わって、表現を工夫したり聞いたりすることができる。

庄東小学校

## 成果物

## 授業の様子



### 演奏順カード

### 演奏動画

#### 演奏の工夫【パートの重ね方】

- 1回目: 全員
- 2回目: けん八、木琴、鉄琴、低音楽器
- 3回目: けん八、鉄琴
- 4回目: 木琴、低音楽器、タンブリン、太鼓
- 5回目: けん八、木琴
- 6回目: 木琴、タンブリン、太鼓
- 7回目: けん八、鉄琴、低音楽器
- 8回目: 全員
- 最後: 全員

## 手立て

- ①グループで相談したり試奏したりしながら、マイボードで演奏の順番を考える。「みんなのボード」を使うと、各自のタブレットから一枚のカードに同時に書き込めるので、みんなが考える場に参加できる。
- ②楽器の音の重なりによさ等に気付くことができるように、演奏順のカードと実際の演奏動画を確認しながら聴く。

4・5班の発表



6・7班の発表



【1時間の流れ】

- 1 課題設定をする
- 2 副読本「きょう土のすがた」やオクリンクプラスに送られた動画等を使って情報収集を行う
- 3 情報収集した情報を「みんなのボード」に作成した自分のカードにまとめる (整理分析)
- 4 まとめ・振り返りを行う

①情報収集しながら意見交換する様子



内容確認をし、「つまり？」と事実と結果の関係を確認する様子が見られる。

②資料に書き込んだメモ



④整理分析後の意見交換の様子



友達のカードを読んで意見交換する相手を選ぶようになった。

③整理分析した子供たちのカード (みんなのボード)

どれぐらいの人数や期間で工事をしたのが調べよう。

2年で工事が終わった → 多い人数で作った使やすかった → ?どうしてたった2年で完成できたのか

二手に分けて流した。 → 水路 → 水路は、大水であふれた水が流れ込むようになっていてその水のいきおいを利用して水路のはばが少しずつ広がっていった。

人々はどうやって神通川の工事をしたのが調べよう → 最初にまっすぐな川を作った → その内側に深さ1.5メートル、はば2メートルの水路を作った → ほとんど人の力で作る → まっすぐな川を作り、川の水を二手に分けて流す工事が始まった → 2年で工事が終わった → 人数が多かった? → 水路に水がながれこむようになってその水をはばを少しずつ広げた。

どのように何人で神通川の工事をしたのが調べよう。

どうやって、神通川を工事をしたのが調べよう。

メモ → かわの水を二手に分けて流すことを考えたヨハネス・デ・レーゲは、自然を利用してのおみずであふれないうちに流れていくようにした。 → 2年で完成できたの → ①いっぽうを作って②内側に水路を作る③二手に分けて水を流す → 昔は、金属とか無くても縄を使って橋を作っている。 → 二手に分けて水の勢いを減らすため → 疑問 → どうやって2年で完成できたのか → 出来たのか → ちぎれそう(壊れそう)で怖い

ヨハネス・デ・レーゲはどうやって工事をしたのが調べよう

①堤防を使った  
②内側に水路を作った  
③二手に分けて水を流す  
水の流れる壘を二つに分けた  
神通川の水害が少なくなった  
普通の橋を作ることができるようになった

矢印を使って事実と結果が分かるようにしたり、地図や資料で図示したりと、各々の好きな方法で得た情報を整理できる。互いのカードを自由にリアルタイムで参照し合えるので、友達のカードからヒントを得ることができる。

⑤まとめ・振り返り

12/2

まとめ  
人々は、神通川を二手にわけるために堤防を先に作った。そして、いっぽうの中央をほとんど人の力で掘って水路を作った。神通川を二手に分けることができたから水の勢いが弱くなったからおみずにならないようになった。

振り返り☆☆☆  
きょうは、まえはあまりできなかった整理分析ができてよかったです。きょうは、二手にわかれてどのようなことができたのかをしらべました。きょう土のすがたの地図に色を変えてわかりやすいくらいができてよかったです。これからも今日みたいなくしゅよい学び方できるように頑張りたいです。

4年1組13番

提出BOXに提出することで、互いのカードを読み合うことができる。また担任からのフィードバックを受け取り、即時に再提出することができる。

## ◆ 手立て

- オクリンクプラス上でカードを使って、簡単に素早く実験の手順や結果をまとめることができる。
- 他の班の実験の手順や結果を「みんなのボード」で確認することができるので、自分たちの手順や結果の振り返りに生かせる。

課題： 白い粉末Xは、ABCのどれと同じか

確かめる実験を考えて計画しよう

実験2  
熱した様子を比べる

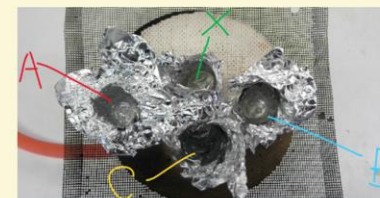
準備  
A, B, C, Xの粉3杯分  
試験管4本  
水  
三脚  
金網  
ガスバーナー  
スポイト  
マッチ

予想  
BとXが同じ

結果  
BとXの粉の入った水溶液が先に泡立ち反応したその後少しずつA, Cと泡立ち反応していった。

考察  
B, Xの粉はほとんど同じタイミングで反応した。

結論  
B, Xの粉は同じ粉である可能性が高い。



課題： 白い粉末Xは、ABCのどれと同じか

確かめる実験を考えて計画しよう

実験1  
水に溶かして調べる

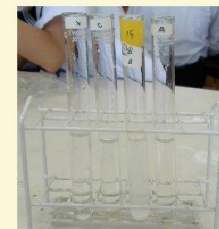
準備  
A, B, C, Xの粉小さじ5杯分  
試験管4本  
スポイト  
ガラス棒

予想  
BとXが同じ

結果  
A→全部溶けた  
B→白く濁って溶け残った  
C→少し溶け残ったが濁っていない  
X→Bと似た感じの白い粉が溶け残ったが、濁っていない

考察  
BとXが溶けにくい

結論  
BとXが同じ粉である



# 第2学年 理科「天気とその変化」(全9時間)

オクリンプラスの共有機能を生かし、友達の考えを参考にしながら、根拠を基に富山県の気象の変化を説明する。

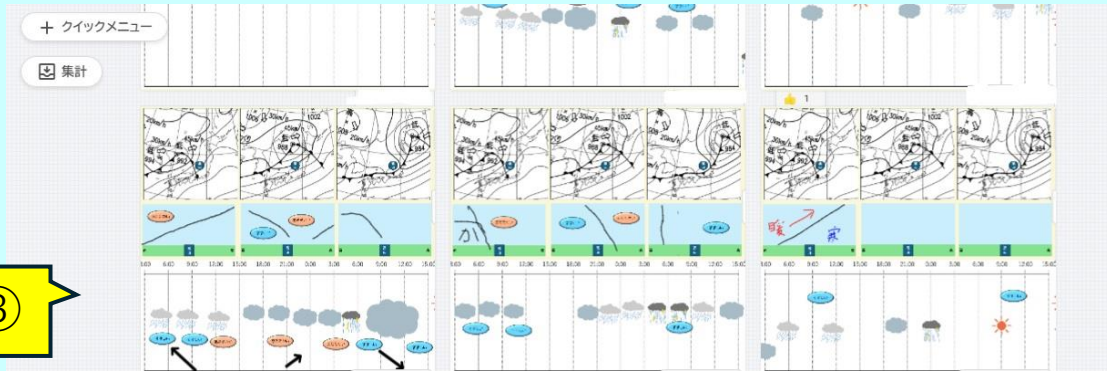
庄西中学校

## 授業の様子

天気の変化を予測



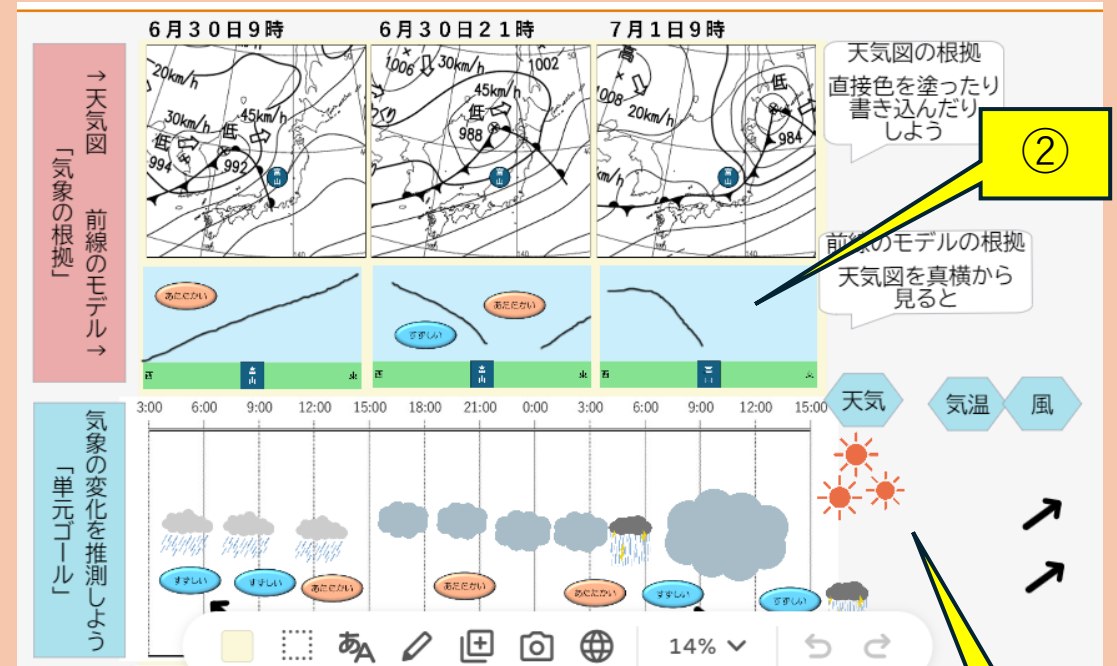
## 手立て



- ① 「みんなのボード」に各自が書き込むためのカードを配置する。生徒は太陽や雲、雨の記号を動かしながら、気象の変化を書き込む。
- ② 根拠を記入できるように、天気図や前線の断面図をカードに配置しておく。生徒は天気図を読み取ったり、前線の断面図を書き込んだりして、考えの根拠とする。
- ③ 自分の考えをまとめる手がかりにするために、共有機能を利用して友達の作成した図を見たり、友達に直接質問したりする。

## 成果物

作成した気象の変化



- ◎前線の断面図から、寒冷前線が通過したことが分かる。また、前線通過後に雨が降り、気温は下がったと考えられる。

# 第3学年 社会科「くらしを守る」(全14時間)

タブレットPCとノートの効果的な使い分け

砺波東部小学校

## タブレットPC

## ノート

### 自転車事故

- ・ヘルメットをつける
- ・前を見る(よそ見をしない)
- ・地域の人々の交通安全の呼びかけ
- ・小学校内でのじてんしゃきょうしつ(交通ルールを学び自転車はこんなふうにするときげんだよ!!)という自転車教室
- ・自転車の点検をする**ブタはしゃべる**(ブレーキ)(タイヤ)(ハンドル)(車体)(べる)
- ・夜はライトを**てんとう**
- ・交差点では信号や一時停止を守って、**安全確認**
- ・歩道がないときは、道路の**左端**を走ろう
- ・あぶないのりかたをしない(二人乗り・競争)×
- ・歩道は**歩行者優先**
- ・横断歩道で**立ち止まらない**
- ・邪魔にならないように**まっすぐ進む**
- ・いつでも**止まれる**ような走り方

自分たちにできることはこんなにたくさん!!

共同編集をして、情報を共有したり、自分の考えを整理したりする。

火災を防ぐために僕たちができることは

### 火事

かさいのおおくはたばこで、3042件もあるかじのげんいんはほかにも、たきびやかんろやほうかなど、ぼくたちのみじかなでんかききなど身近なところにも、**火事の原因がたくさんあります**。そんな課で、僕たちができることは、例えばでんかききですんかききでは、**つけっぱなしにしないことやもえやすいものをちかくにおかないこと**です。

### ふりかえり

タブレットで振り返りをするので、共有できるようにしている。

### 【1時間の流れ】

①課題をたて、まとめの見通しをもつ

課題 くらしを守るために自分たちにできることを考えよう

②教科書やインターネットから情報を集め、カードにまとめる  
自転車事故と火事のどちらを調べるか決める。

まとめの見通し  
火事をふせぐために自分にできることは～。  
自転車じこをふせぐために自分にできることは～。

③意見交流  
まとめを見いだすために、意見交流を行い、自分が調べていない項目について知る。

ノートには、本時の課題とまとめを蓄積している。教師は、課題に対するまとめがかけているかその場で評価している。

④まとめ

⑤振り返り

### まとめ

くらしをまもるために自分たちにできることを考えよう


11/4  
⑤ 自転車じこをおこさないために、自分にできることは、じてんしゃ教室。(ブタはしゃべる)歩道がないときは左がりまはしやなとたくさしめことかできる  
火災をふせぐためには自分たちにできることは、ストの、こんろなとたきん的生活でわかっていままものは、つかあな  
いときけす



手立て・授業の様子

成果物

①本時の課題を確認する。  
『日本の水産業がかかえる課題や、それに対する取組について調べよう』




②課題解決に向け、教科書や資料集、インターネット等で調べる。

③調べたことのまとめをカードに入力する。(オクリンクプラス)

④友達とまとめを交流する。

⑤学習を振り返る。(オクリンクプラス)



単元を通して、調べたことをノートにメモしてからまとめを入力するか、ノートを使わずにすぐに入力するかは子供が自己選択して進めることとした。

ノートとタブレットを併用した  
A子の記述

水産業の抱えるもの!?

～水産業の問題点!～  
水産業には働く人が減っていて高齢化が進んでいるという問題があるようで、漁師体験や、冊子づくりなどいろいろな形で頑張っているそうです。

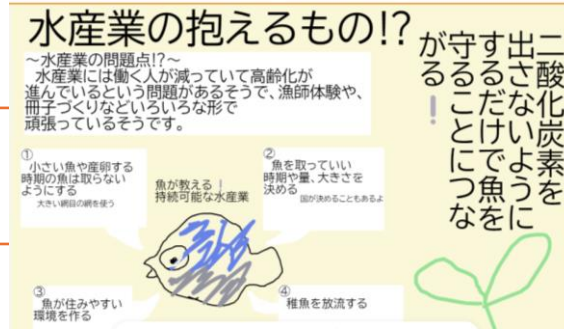
① 小さい魚や産卵する時期の魚は取らないようにする  
大きく網目の網を使う

② 魚を取っていい時期や量、大きさを決める  
魚が教える 持続可能な水産業 漁師決めることもあるよ

③ 魚が住みやすい環境を作る

④ 稚魚を放流する

二酸化炭素を出さないようにする  
守るだけじゃなく、つなげる



今日の学び  
米農家と水産業の取り組みで両方ともAIを使っていることを知りました。  
また、米農家も水産業の人たちも、高齢化や人が減っているという事に気づきました。

タブレットのみを使った  
B男の記述

日本の水産業がかかえる課題

沖合漁業や沿岸漁業が減ってきたのは、漁場の環境の悪化や魚の取りすぎによって、水産資源そのものが減ってしまったことや、外国から安い魚が輸入されるようになったことが関係しています。漁獲量が減っている魚については、漁を数年間やめたり、その年にとることのできる魚の漁や期間を決めるなどの取り組みが行われています。  
また、漁業や水産加工の人手不足をおこなうため、日本の技術を学びに来ている多くの外国人技能実習生が日本国内で働いています。

今日の学び  
今日は、日本の水産業がかかえる課題をして、日本の技術を学びに来ている多くの外国人技能実習生が日本国内で働いていることがわかりました。

この事例で明らかとなった成果

ノ ー ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをとることで、調べた内容を頭の中で整理（インプット）することができ、自分の言葉でまとめること（アウトプット）ができる。</li> <li>・メモを書き溜めているため、これまでの学習と比較したり繋がりを意識したりしながら調べたことをまとめたり、学習を振り返ったりすることができる。</li> <li>・友達とまとめを交流した際、友達から学んだことをすぐにメモすることができる。</li> </ul>
タ ブ レ ッ ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのまとめや考えを交流する際は、より多くの友達のまとめや考えを知ることができる。</li> <li>・記述の修正が素早くできたり、写真や絵を簡単に取り入れたりすることができる。</li> <li>・子供の書く字には個人差があり、ノートでは読みにくい文章であっても、タブレットでは読むことができる。</li> </ul>

## 授業の様子



## 手立て

① デジタル教科書の教材文に登場人物スタンプを押す。

がまくんが言いました  
「今、一日のうちの  
お手紙をまつ時間  
とても ふしあわ  
そりや、どうい  
かえるくんがたずね  
「だって、ぼく、おま  
がまくんが言いまし  
「いちどもかい」  
かえるくんがたずね

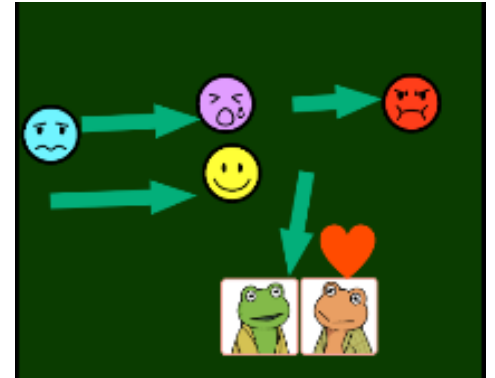
② 「マイ黒板」機能を活用し、場面ごとの登場人物の様子を思い浮かべ、自分の考えをまとめる。  
(叙述や挿絵の抜き出し、スタンプ、吹き出し等を使いながら、自分なりにまとめる)  
→タブレットを見せ合いながら交流する。

③ ワークシートに自分と比べて考えたことや、読んで思ったことを書く。

④ ノートに、学習のまとめや今日の学びを書く。

⑤ 登場人物に手紙を書く。

## 成果物





# 第1学年 英語科「自分のお気に入りの人を紹介しよう」(全7時間)

ICTやノートを効果的に使い、自分にあった方法を選び、自分のスピーチをよりよくする。

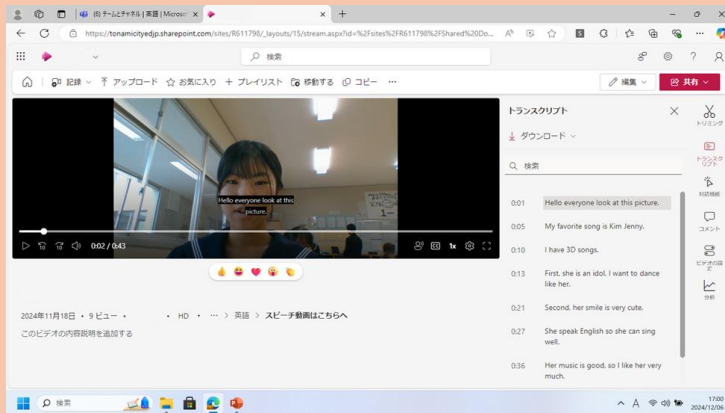
般若中学校

## 授業の様子

スピーチの発表に向けて、生徒たちが自分で選んだ方法でスピーチを練習する



## 成果物



## 手立て

スピーチをよりよくするための方法を選択肢として提示する。

<ICT>

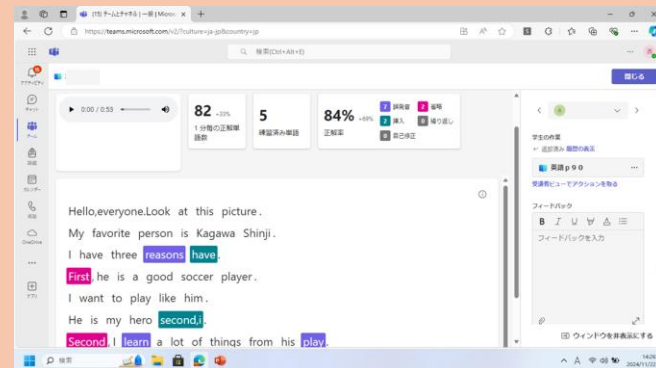
- ①自分のスピーチ動画を撮る。
- ②ワードで文字起こし
- ③タブレットで発音等を調べる

<ノート>

- ④原稿をノートに書き、先生などに添削してもらう。等



授業の最後に、生徒の練習の成果をビデオや音声データで提出させ、教師が評価をする。評価にAIの力を借りることでより正確に評価できる。

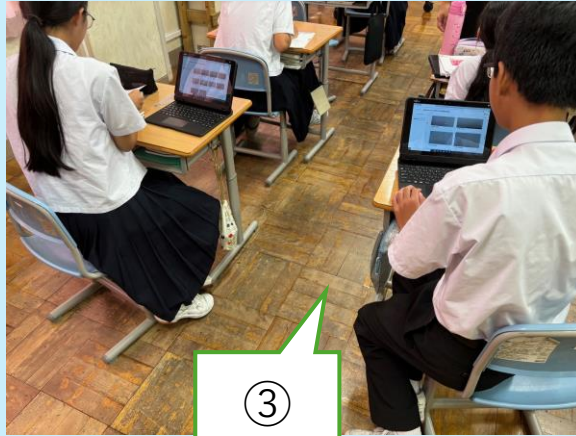


## 【授業の様子】

ノート書いた解き方をタブレット端末を使って共有する様子

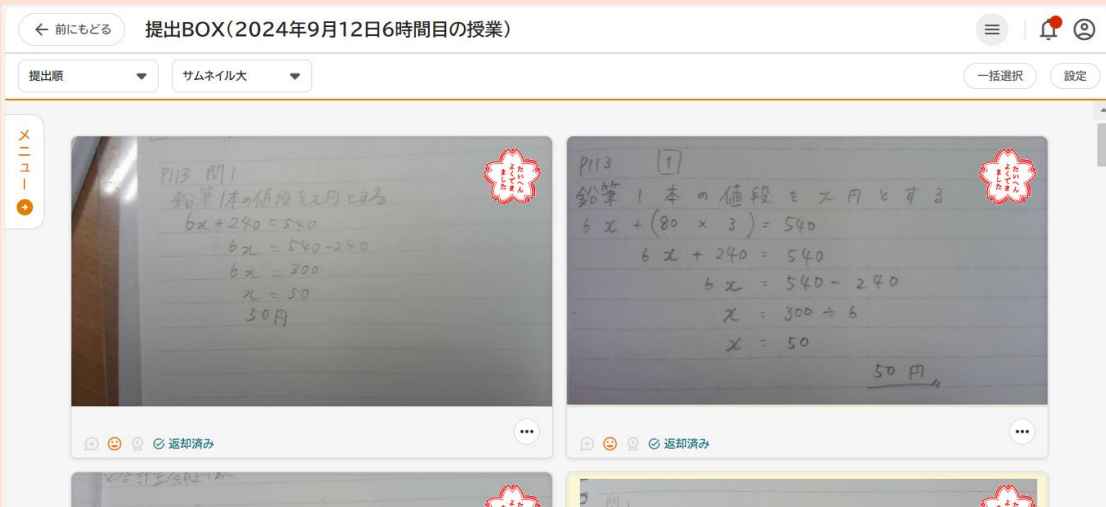


①



③

## 【成果物】



②

## 【手立て】

- ①身のまわりの問題を方程式を活用して解決する問題において、自分の考えや解き方をノートに記入する。
- ②自分の考えを書いたノートの写真を撮ってオクリンクプラスに送る。
- ③生徒同士で考え方や解き方を見合い、友達と考えを話し合ったり、自分の解き方を修正したりする。